

東北ダンプ



【発行】全日本建設交通一般労働組合(略称・建交労)東北ダンプ支部
〒963-8025 郡山市桑野2-3-2
建交労福島ダンプ内
2024年11月1日発行 NO.29
Tel:024-933-4511 fax:024-921-1868
Email: fukusimadanpu@mtj.biglobe.ne.jp



左は昆書記長、右は議長団の橋本さん(福島)、細川さん(岩手)

建交労東北ダンプ支部第3回定期大会



運動方針案・予算案の採択では満場一致で可決されました。その後、役員選挙が行われ新執行部体制が確立しました。そして半澤執行委員が大会宣言を読み上げ拍手で確認しました。最後に瀧柳委員長の音頭で「団結がんばろう」で大会を締めくくりました。(左の写真)

その後の親睦会では、東北6県の組合員の団結を一層深め合い、大会の全日程を無事終了しました。

今年度の新役員です。(敬称略)

- 執行委員長 瀧柳 勝彦
- 副執行委員長 高橋 正彦、永井 正彦、森谷 稔
- 書記長 昆 茂太郎
- 書記次長 田中 喜三男
- 執行委員 鈴木 宏明、高橋 高男、半澤 正樹
- 会計監査 伊藤 玲子、藤戸 一祐

※いずれも再任です。よろしくお願いします。

定期大会を開催 …10月26日

10月26日、建交労東北ダンプ支部は福島県会津若松市の東山グランドホテルにおいて「第3回定期大会」を開催しました。東北6県から大会代議員26名・役員10名の計36名が参加しました。永井副委員長の開会あいさつ、議長団の選出、高橋副委員長のメッセージ披露、大会成立の確認を行いました。

瀧柳執行委員長は、我々がこれまで闘ってきた経済闘争の実績に触れ、「組合と元請の合意現場で常用単価55,000円(税抜)まで押し上げてきたことは、これまでの運動の積み重ねがあつての成果である。今から約20年前、歴史に残る福島県知事との直談判行動など諸先輩方の奮闘があつて今の到達点がある。今後もこれらを継承して旺盛に使用促進闘争の運動を広めていくが、組合の専従者だけでは組合の運動」を維持することはできない。現場の協力が不可欠であり、多くの仲間が運動に参加することが求められる」とあいさつしました。

また、組織拡大については、第2回大会の現勢から後退させてしまったことについて率直に「申し訳ない」と反省を述べました。そして「来年の大会には掲げた目標を何としても達成できるように東北ダンプが一丸となって進めていこう」と力を込めました。

昆書記長から経過報告と運動方針案の提案、田中書記次長から決算報告と財政方針案・予算案の提案、伊藤会計監査から監査報告が行われました。

質疑討論では福島分会南班の永田代議員が建交労学校に参加して学んだこと、いわき班の鈴木代議員が『交通安全推進団体』としての役割や重要性のこと、宮城班の布田代議員が今年3月に班を結成して当時は20人の組織から現在28人になったこと、秋田分会の加藤代議員が使用促進現場で就労したことなど8人から発言がありました。討論の最後に森谷副執行委員長がこれまでの秋田県内の経済闘争(交渉)の進捗状況を次のように話しました。「現在、数ヶ所の現場で組合が就労している。地元の多くの元請は使用促進措置に難色を示してきていたが、変化してきている。今後の見通しもある中で課題も見えている。それは配車問題だ。東北全体で対応していこう」



左から高橋副委員長、永井副委員長、森谷副委員長



懇親会を前に記念撮影(仲居さんから撮ってもらいました)

晴釣雨読(せいちょううどく)

東北の渓流釣り解禁は、早い所では三月中旬に解禁となり、紅葉が始まる九月末日をもってオフシーズンになる。時雨を迎える頃、いつせいに岩魚、山女魚は産卵のため上流を目指して川を上りはじめ。オスはメスを求めて産卵のため上流の枝沢にある産卵床の砂礫底がある場所を探し求めて産卵となる▼産卵期には、メスは抱卵のため泳ぎも鈍くなるが必死で遡上する。その周りにオスが群れてさらに警戒が弱くなり、平常期よりも遙かに捕獲しやすい状況になることから密猟が横行する▼禁漁期間に岩魚や山女魚を密猟すると、県漁業調整規則違反になり罰金が科せられる。この法律は、内水面漁業の振興を、国及び地方公共団体の責務を明らかにして、内水面漁業の振興を基本に漁業が推進するために定められている法律である。時には密猟者が紙面をにぎわす事がある▼釣り情報を釣具店で尋ねると、熊の出没が相次いでいることから釣り具の販売が低迷、追い打ちをかけるような大きな要因は、熊出沒で釣り場情報も極端に入らないことで、更に拍車をかけている。溪流釣りの低迷期が当分続くであろう▼野生動物と人間の生活圏の区別なくなってきたことが、大きな要因だと考えられる。本来、熊は秋にはたつぷり脂肪を付けて、エサが少なく寒い冬場に冬眠するのが熊の生態だった。気象の変化がそれを変えてしまった。地球温暖化の影響が、眠らない熊を作ったことになる▼人間社会と野生生物の境界が失われたことで、熊被害続出でやりきれない思いになる。地球温暖化対策を早急にと願うのは溪流を愛する釣り人だけだろうか?

高橋 溪峰

鶴ヶ城

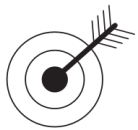


宮城県労働委員会の第5回調査は、 12月 5日(木) 13時30分～ …団体交渉拒否不当労働行為救済申立事件…

東北サンド(株)は、砂の運搬業務のすべてを営業の青ナンバーダンプに切り替えるので、自家用の白ナンバーダンプである当組合所属の遠藤氏を実質解雇してきました。組合の度重なる団体交渉の申し入れ(要求内容は、遠藤氏の解雇撤回と今後も継続して使用すること)に対して、東北サンド(株)は、労働組合法第7条でいう使用者にあたらないうとして団体交渉に応じないのは、不当労働行為だとして宮城県労働委員会に不当労働行為の救済申し立てを行って、今まで4回の調査が行われてきました。

今度で調査も5回目となり、来年1月以降に証人尋問がおこなわれる予定です。

時の的



飯田光徳 社会福祉法人「野の花福祉会」

飽くなき探求心で大谷選手の進化は続く

今期のメジャーでの大谷翔平の活躍は感動と驚きの連続だった。シーズン前の段階で「トリプルスリー」まで誰もが想定できた。本塁打は当然、盗塁にしても月当たり5個決めれば30に到達する。それが史上初の「50—50」を達成、最終的には「54—59」まで伸ばした。まさに前代未聞。

特に9月19日は大谷の活躍で「自民党総裁選挙」もすっかり霞んでしまった。たった1試合で6打数6安打3本塁打2盗塁10打点。あつという間に50どころか「51—51」にも到達。敬遠の選択もあったが、相手チームの監督は「野球への敬意も込めて、彼と勝負にいった」「恐れずに立ち向かったチームを誇りに思うし、野球はそうあるべきなんだ」と。メジャーの意識の高さがうかがえる。

本塁打もさることながら、盗塁の高い成功率(92%)に注目が集まる。ピッチクロックや牽制の回数制限など23年シーズンからルールが変わったという背景も大きいといわれるが、これは他の選手も同じ条件だ。

春のキャンプから走力を高め、相手投手の研究も怠らない結果が高成功率を実現させた。盗塁時の投手の球種、配球、そして気分感情なども含めて確実に決められるという判断で走っているのであろう。後ろを打つベッツやフリーマンの意識の高さも見逃すことはできない。大谷が走りそうだなという時、ベッツはスタートを切るタイミングを意識しながら打席に立っているように見える。

来期は打ち立てた偉業を土台に投手との両立をすすめる。飽くなき探求心で進化を続ける大谷翔平、30歳。さらなる挑戦は続く。

秋田名物は「ハタハタ」と「曲げわっぱ」と「秋田ダンプ」だと言わせる活動を！

秋田県内では現在、使用促進闘争の活動が勢いを増して進んでいます。何と言っても特徴は、8時間稼働の単価が55,000円(税込60,500円)で就労できる事です。現在は、雄物川の河道掘削工事(はりま建設)と秋田自動車道山内トンネル工事(奥村組)で7台の組合ダンプが動いています。成瀬ダム原石山工事は、先日、無事に終了しました。

今後の予定は、雄物川山田堰建築工事(大林組)、秋田道黒沢トンネル工事(西松建設)、秋田道土渕工事(安藤ハザマ)、鳥海ダム本体建設工事(西松建設)、秋田道横手工事(請負者未定)での就労が決まっています。いずれも大手のゼネコンであり、単価は55,000円を確認しています。単価については、来年度に引き上げの予定があり、組合もそれに準じた値上げを申し入れます。

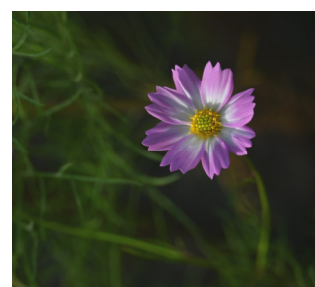
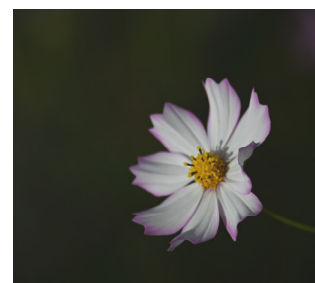
東北ダンプ支部では、この1年間、秋県内でも55,000円で就労できる現場をいっぱい作ろうと奮闘して来ました。福島や宮城に比べると、秋田県内の実情が相当遅れていたため、力の集中を図りました。東北6県の状況を同じくする事が、東北ダンプ支部を結成した最大の理由だったからです。

10月23日に、秋田振興建設を訪れ、小原社長さんと話し合いをしました。秋田県内では、大手ゼネコンの現場には入れても、地元建設業者との合意は難しい現状があるからです。秋田振興建設は県建設業協会の役職を出したり、経営者の親族は秋田県知事や国会議員も務めるなど、政治的にも県内に影響力を持っている会社だからです。

話し合いに入ると、最初は建交労ダンプの受け入れを拒否していましたが、一方では法令遵守の課題もあるため、明確には断り切れないという態度を取っていたと思います。穏やかに、様々な話題にも触れながら1時間を超す話し合いは終わりました。組合としては諦めることなく、法令遵守に則った話し合いを続けて行きます。

組合の皆さんへ

⇒配車の相談が行った場合は、ためらわずに就労して下さい。



能登の復旧・復興を最優先に
大軍拡や万博をやっている場合か